

第86期 中間株主通信

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで



Produce
The Future



株式会社 GSIクレオス

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、第86期中間期（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）の営業を終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月

代表取締役社長

中島浩二



第86期中間期の業績

当中間期におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあるものの、個人消費の回復の遅れに加え、米国の利上げ観測や中国経済の減速など海外景気に下振れ懸念があることから、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下、当中間期の業績は、売上高は前年同期比2,832百万円、4.1%増収の72,389百万円、売上総利益は、前年同期比27百万円、0.4%減益の6,717百万円、営業利益は、前年同期比94百万円、28.5%増益の426百万円、経常利益は、前年同期比76百万円、16.3%減益の392百万円、

親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比60百万円、25.0%増益の301百万円となりました。

第86期中間期業績

売上高	72,389百万円	前年同期比	4.1%
営業利益	426百万円	前年同期比	28.5%
経常利益	392百万円	前年同期比	△16.3%
親会社株主に帰属する中間純利益	301百万円	前年同期比	25.0%

通期の見通し

下半期の経営環境につきましては、引き続き先行き不透明な状況が続くものと思われませんが、当社グループは、各事業の採算とリスクの管理をより徹底することで、収益の確保と財務基盤の強化に取り組んでまいります。

(2020年ビジョン)

当社グループでは、成長路線への転換を図るため、2020年ビジョンを「ニッチな分野でグローバルに独自の機能を提供する事業創造型商社として社会に貢献する。」と決めました。こ

のビジョンにもとづき、『世界で稼ぐ力』を強化するとともに、事業の選択と集中を加速してまいります。

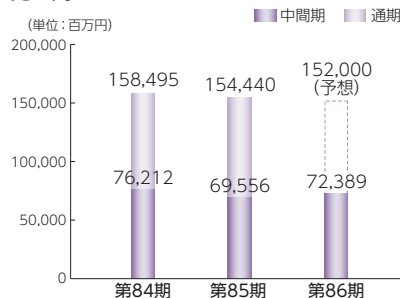
※ニッチな分野とは、メーカーが直接攻めにくく、他商社の追随を許さない、当社グループが得意としている商材や事業をいいます。

第86期通期見通し

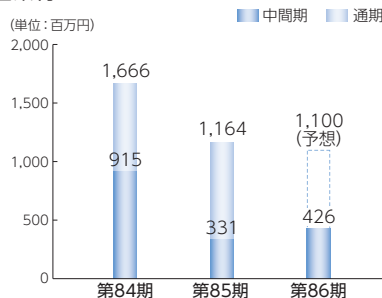
売上高	152,000百万円
営業利益	1,100百万円
経常利益	1,000百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	700百万円

業績の推移(連結)

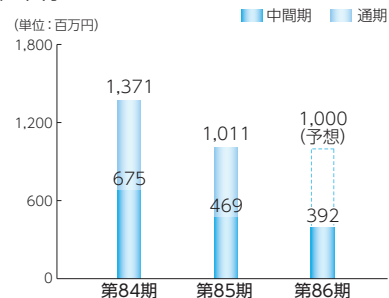
売上高



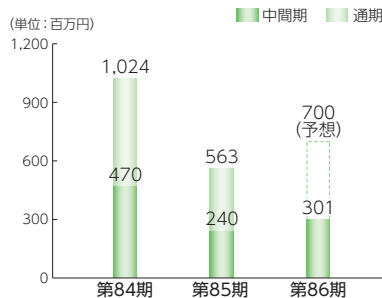
営業利益



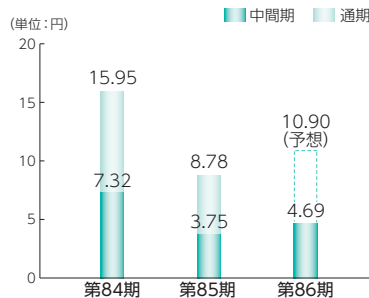
経常利益



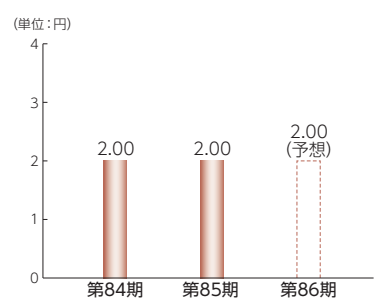
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



配当金

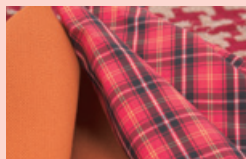


セグメント別概況

繊維事業

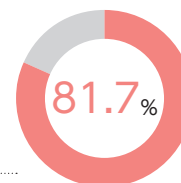
主要商品：

繊維原料、テキスタイル、
レッグ・インナー・
アウターウェア 他

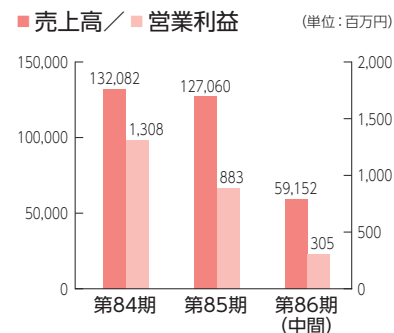


売上高	59,152百万円	
	前年同期比	3.8%
営業利益	305百万円	
	前年同期比	17.0%

売上構成比



- インナー関連は、機能性の高い原糸および生地が増収となりましたが、利益率は低下しました。企画提案型の婦人ファンデーションは、店頭不振により取引が減少するとともに、円安の影響によるコスト高で採算が悪化しました。また、低採算の取引を見直したことから、ソックスの輸入取引が減少しました。
- アウター関連は、米国アパレル向けの生地輸出の取引が堅調に推移しました。また、円安によるコスト高の影響を受けていた製品のOEM取引は、採算管理を徹底することで収益の改善を図りました。



工業製品事業

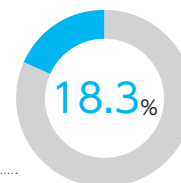
主要商品：

化学品、機械装置・資材、
ホビー・生活関連品 他

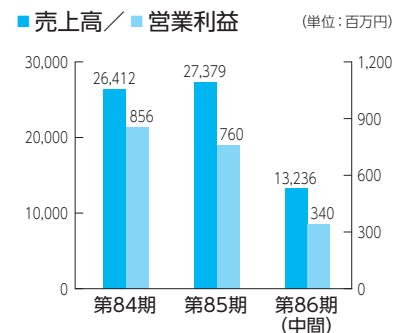


売上高	13,236百万円	
	前年同期比	5.1%
営業利益	340百万円	
	前年同期比	21.5%

売上構成比



- 塗料・樹脂の添加剤は、欧州やアジアでの取引が好調に推移し、米国における半導体用途の化学製品の取引も増加しました。また、フィルムの取引や化粧品原料は、前年並みとなりました。一方、半導体関連の機材は、円安の影響を受けて減少しました。
- ホビー関連商品は、堅調に推移しました。
- ナノテクノロジー事業は、塗料、複合材料、燃料電池の3分野に絞り込み、事業化を促進しています。



国際テキスタイル見本市「ミュンヘン・ファブリック・スタート」に出展 －欧州テキスタイルビジネスのさらなる拡大を目指して－

当社は、本年9月にドイツ・ミュンヘンで開催された、欧州3大テキスタイル見本市のひとつである「ミュンヘン・ファブリック・スタート」において、メイド・イン・ジャパンのア



「ミュンヘン・ファブリック・スタート」の様子

ウターウェア用の化合織生地を出展しました。

日本製商材の優れた品質と機能に対する来場者の反応は上々で、なかでも、すでにダウンジャケット用素材として実績がある、軽さと伸縮性を実現したナイロン製のストレッチ生地に関心が集まりました。

現在、欧州のテキスタイルビジネスは、イタリアやフランス向けが中心となっておりますが、今後は、ドイツをはじめとして東欧や北欧への販売活動を強化し、同ビジネスのさらなる拡大に取り組んでまいります。



今回出展した生地見本

ブラジルで医療機器販売事業に参入 －人工透析装置の販売を開始－

当社は、ブラジル・サンパウロ郊外に、医療機器を専門に取り扱う拠点（GSI ブラジル社サンロケ支店）を開設してその販売の認可を取得していましたが、同国内に代理店網を構築し、東レ・メディカル社製の人工透析装置の販売を透析患者（患者数世界4位）に向けて開始することで、医療機器販売事業に参入しました。

ブラジルにおいては、外国製の医療機器登録は現地企業が行わなければならない、登録審査前に製造工場の品質管理システム監査を受ける必要があることに加え、言語や地理的問題もあり、参入障壁が非常に高い環境となっています。今後は、この認可と販売体制を活用し、ブラジルにおける医療機器の輸入販売窓口として、市場のリサーチを進めて取扱品を拡大してまいります。



東レ・メディカル社製の人工透析装置

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期	前期	
	平成27年9月30日現在	平成27年3月31日現在	
資産の部	流動資産	57,037	54,331
	固定資産	11,664	11,553
	有形固定資産	4,599	4,696
	無形固定資産	878	899
	投資その他の資産	6,186	5,958
資産合計	68,702	65,885	
負債の部	流動負債	51,034	48,199
	固定負債	1,562	1,624
負債合計	52,597	49,823	
純資産の部	株主資本	15,220	15,282
	その他の包括利益累計額	834	729
	非支配株主持分	49	49
純資産合計	16,105	16,061	
負債純資産合計	68,702	65,885	

連結貸借対照表(要旨)のポイント

資産

現金及び預金の増加等により、前期末比2,816百万円の増加

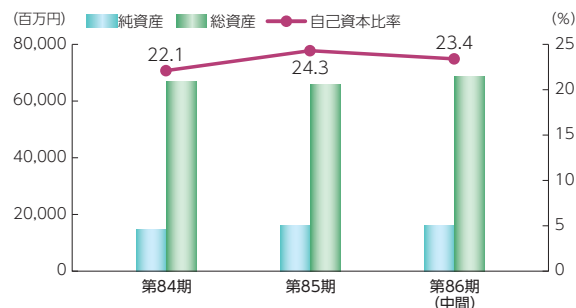
負債

仕入債務の増加等により、前期末比2,773百万円の増加

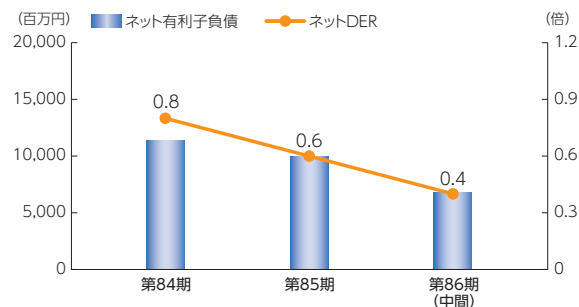
純資産

配当および連結範囲の変更により株主資本は減少したものの、その他の包括利益累計額の増加により、前期末比43百万円の増加

純資産(百万円)／総資産(百万円)／自己資本比率(%)



ネット有利子負債(百万円)／ネットDER(倍)



当社ホームページ(IR情報ページ)のご案内

当社ホームページのIR情報のページでは、決算短信や有価証券報告書等のIR情報をご覧いただけます。より詳細な情報については、以下のアドレスにアクセスくださいますようお願いいたします。

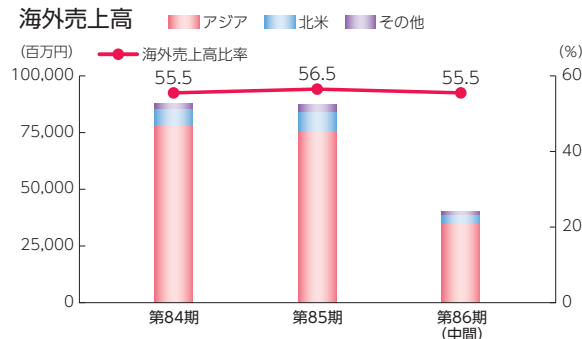
<http://www.gsi.co.jp/ir>

連結損益計算書(要旨)

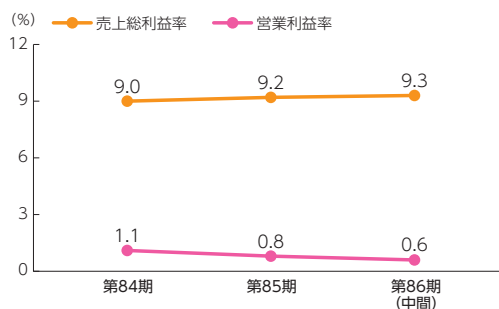
(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期
	平成27年4月1日～ 平成27年9月30日	平成26年4月1日～ 平成26年9月30日
売上高	72,389	69,556
売上原価	65,671	62,811
売上総利益	6,717	6,745
販売費及び一般管理費	6,291	6,413
営業利益	426	331
営業外収益	153	351
営業外費用	187	214
経常利益	392	469
特別利益	73	—
特別損失	37	51
税金等調整前中間純利益	428	418
法人税等合計	127	177
非支配株主に帰属する中間純利益	0	0
親会社株主に帰属する中間純利益	301	240

海外売上高



売上総利益率(%) / 営業利益率(%)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期
	平成27年4月1日～ 平成27年9月30日	平成26年4月1日～ 平成26年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	3,280	495
投資活動による キャッシュ・フロー	250	△0
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,619	△754
現金及び現金同等物の 中間期末残高	10,389	7,917

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)のポイント

営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務の増加により、3,280百万円の増加

投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の売却による収入により、250百万円の増加

財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済による支出により、1,619百万円の減少

会社概要 (平成27年9月30日現在)

会社の概要

会社名	株式会社GSIクレオス		
本社	東京都千代田区九段南二丁目3番1号		
設立	1931年10月31日		
資本金	71億86百万円		
従業員数	625名(連結)		
拠点	国内 7ヶ所	海外	18ヶ所
連結子会社	国内 8社	海外	8社
ホームページ	http://www.gsi.co.jp		

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

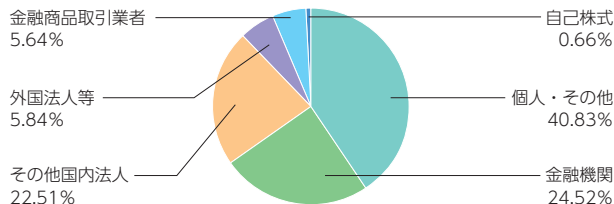
発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	64,649,715株 (自己株式428,979株を含む)
株主数	5,975名

大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
グンゼ株式会社	9,321	14.51
株式会社みずほ銀行	3,182	4.95
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,172	4.94
日本生命保険相互会社	2,328	3.63
東レ株式会社	1,982	3.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,339	2.08
宮川 久雄	756	1.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	710	1.11
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	698	1.09
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	692	1.08

(注) 持株比率については、自己株式(428,979株)を控除して算出し、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

株主構成(所有者別株式数の割合)



役員

代表取締役社長	中島 浩二	取締役	新美 一夫
常務取締役	松下 康彦	取締役	大西 文博
常務取締役	吉永 直明	社外取締役	後藤 芳浩
常務取締役	中山 正輝	常勤監査役	浅野 幹雄
取締役	荒木 靖司	監査役	石川 均
取締役	富田 正憲	社外監査役	岩田 紀治
		社外監査役	金井 博芳

株主メモ

証券コード	8101
上場証券取引所	東京
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
公告の方法	電子公告 当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載アドレス http://www.gsi.co.jp/ir/notice (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

